

平成26年5月20日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 2件  
(うち灯油窯1件、屋外式(RF式)ガスふろがま(LPガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故  
該当案件無し
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故 2件  
(うち折りたたみ椅子1件、エアコン(窓用)1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)において、審議を予定している案件  
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

株式会社オカキンが製造した屋外式（RF式）ガスふろがま（LPガス用）について（管理番号A201400092）

※株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（LPガス用）を組み込んだもの

### ①事故事象について

株式会社オカキンが製造した屋外式（RF式）ガスふろがま（LPガス用）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられます。

管理番号	事故発生日	機種・型式	被害状況	事故発生都道府県
A201400092	平成26年5月9日	OK-AR型-LE	火災	広島県

### ②再発防止策について

同社、株式会社世田谷製作所及びOEM供給を受け販売している他2社では、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）4月19日からウェブサイトによる周知（2013年3月7日再周知）とともに、使用者へのダイレクトメールの送付や電話連絡等によりこれまで継続的に注意喚起を行い、OEM製品を含む対象製品について無償点検・部品交換（ガバナ部（整圧器）等の交換）を実施しています。

なお、今後も更なる無償点検・部品交換の促進に向けて取組を強化することとしています。

### ③対象製品：会社名、機種・型式、対象製造期間

会社名	機種・型式	対象製造期間
(株)オカキン	OK-AR型-LE OK-BR型-LE	1997年11月～2006年8月 1997年11月～2006年7月
(株)世田谷製作所	R38B R137B CS31B CS32B CS33B FE15 TA-097UET TA-270UET TA-OK270UET GS-1	1998年5月～2006年5月 1997年6月～2006年5月 1998年6月～1998年8月 1998年10月～2006年4月 2001年5月～2001年6月 2000年4月～2006年5月 1997年9月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 2000年11月～2005年11月
東京ガス(株)	ST-913RFA ST-912RFBシリーズ ST-9150CFS	1997年6月～2006年5月 1998年5月～2006年5月 1999年10月～2006年5月
(株)ハーマン	YF702	1997年6月～2002年2月

注：対象製品には、株式会社世田谷製作所のガスふろがま用バーナーを組み込んだガスふろがまを製造している株式会社オカキンと、株式会社世田谷製作所からバーナー付ふろがまのOEM供給を受け、販売している東京ガス株式会社及び株式会社ハーマンの製品があります。

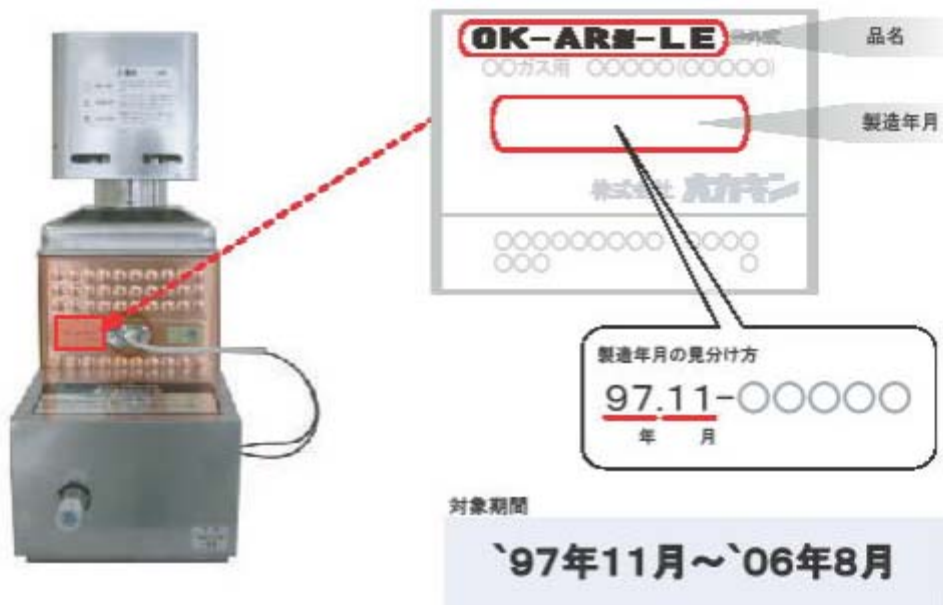
2007年（平成19年）4月19日からリコール（無償点検・部品交換）を実施  
 改修対象台数 39,337台  
 改修率 74.6%（2014年3月31日現在）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201400092）発生以前の、2010年度以降同社を含む株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）を組み込んだ製品におけるリコール対象の内容による事故（調査中のものであってリコール対象の内容の事故かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2014年度	1	火災	2011年度	1	火災
2013年度	8	火災	2010年度	4	火災
2012年度	7	火災			

<対象製品の外観及び確認方法>



対象製品の確認方法：浴室内に下記リモコンのどちらかが設置されている場合は、上記対象製品の機種・型式、製造期間が該当していないか御確認ください。



※ GS-1のストーブは除きます。

#### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者等の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

#### 【問合せ先】

##### 株式会社オカキン

電話番号：0120-581-126

受付時間：9時～19時（日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.okakin.com/news/0.html>

##### 株式会社世田谷製作所

電話番号：0120-634-126

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/cgi-bin/pdfdata/20130307195146.pdf>

##### 東京ガス株式会社

電話番号：0120-133-278

受付時間：9時～19時（月～土）

9時～17時（日・祝日）

ウェブサイト：<http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html>

##### 株式会社ハーマン

電話番号：0120-248-772

受付時間：9時～17時30分（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2007/04/post-14.html>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課  
(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、清重  
電 話 : 03-3507-9204 (直通)  
F A X : 03-3507-9290

(株式会社オカキンが製造した屋外式 (R F 式) ガスふろがま (L  
P ガス用) についての発表資料に関する問合せ先)  
経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室  
担当 : 水野、長沼、山田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)  
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400091	平成26年4月30日	平成26年5月15日	灯油窯	TSD-03	株式会社セラミックアート	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の部品の一部が取り付けられていなかった状況を含め、現在、原因を調査中。	滋賀県	事業者が事故を認識したのは5月1日報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意
A201400092	平成26年5月9日	平成26年5月16日	屋外式(RF式)ガスふろがま(LPガス用)	OK-AR型-LE	株式会社オカキン	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部(整圧器)のダイヤフラム(ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁)に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられる。	広島県	平成19年4月19日からリコールを実施(特記事項を参照)改修率 74.6% 5月13日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

該当案件無し

### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400090	平成26年4月17日	平成26年5月15日	折りたたみ椅子	重傷1名	施設の職員が当該製品に座って座面下部に両手を添え前方へ移動しようとしたところ、手指を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	福岡県	事業者が事故を認識したのは5月14日
A201400093	平成26年4月30日	平成26年5月16日	エアコン(窓用)	火災	火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	岡山県	製造から20年以上経過した製品

### 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し